

## 日本中東学会第32回年次大会・最終プログラム

1日目：2016年5月14日（土）

13:00-17:00【公開シンポジウム】（西校舎517教室）

### インド洋海域史研究の現在

#### ・概要

中東は三つの大陸の結節点であるだけでなく、歴史的に重要な二つの海域世界—地中海とインド洋—が会う場所でもあった。そのため海域からの視点も含めて地域を総合的にとらえることは、中東研究の深化にとって不可欠である。本公開シンポジウムは、陸域と同じ重要性を持つ海域、特にインド洋海域から中東を見据えることを目的とする。半世紀にわたって日本のインド洋海域史研究を先導されてきた家島彦一氏の講演を主軸に、多様な視座からの最新報告を交えながら、当該研究の「現在」を見定めたい。

・主催：日本中東学会、共催：慶應義塾大学言語文化研究所

#### ・スケジュール

13:00-13:10 開会挨拶・趣旨説明 司会：新井和広（慶應義塾大学）

13:10-14:00 基調講演

家島彦一（東京外国語大学）「インド洋海域史研究の道を行って」

14:00-15:20 報告

上田信（立教大学）

栗山保之（東洋大学）

鈴木英明（長崎大学）

弘末雅士（立教大学）

\*50音順

15:20-15:40 休憩

15:40-16:50 パネルディスカッション・質疑応答

16:50-17:00 閉会挨拶

17:15-18:15 日本中東学会総会（会員のみ）

18:30-20:30 懇親会（於 南校舎4F ザ・カフェテリア）